



株式会社 三菱東京UFJ銀行

投資型年金保険



アクサ生命保険株式会社



redefining / standards

特別勘定（世界分散型40MU）

月次運用実績レポート

2010年12月



三菱UFJ投信

【利用する投資信託の委託会社】 三菱UFJ投信株式会社

三菱UFJ投信株式会社は、2005年10月の合併により、幅広い商品ラインアップと充実した販売網、そして様々な商品カテゴリーに対応できる運用体制を確立いたしました。

引き続き、広くお客さまのニーズと信頼にお応えし、質の高い運用とサービスを誠実にご提供することを目指して参ります。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用対象として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2010年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を10/10ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2010年12月]

【日本株式市場】

12月の国内株式市場では、東証株価指数(TOPIX)は上昇しました。上旬は、米国において大型減税措置の2年間延長の発表やISM(米供給管理協会)非製造業景気指数など、良好な経済指標の発表を背景に、為替市場での円高進行が一服したことを好感し、国内株式市場は上昇基調で推移しました。中旬にかけては、2010年7-9月期実質GDP(国内総生産)2次速報値が消費や企業の設備投資を中心に上方修正されたことに加え、法人税実効税率5%引き下げを含む税制改正大綱が発表されたことや前月に引き続き日本株式の相対的な出遅れ感が意識されたことで、国内株式市場は底堅く推移しました。下旬には、年末に向けて外国人投資家の動きが鈍くなるなか、株式市場の短期的な過熱感が意識されたことや為替の円高進行を受け、もみ合う展開となりました。

【外国株式市場】

12月の米国株式市場は上昇しました。上旬は、11月の失業率が上昇したものの、11月のISM非製造業景気指数が市場予想を上回って上昇していたことから景気回復は順調に進捗しているとの見方が優勢となり、株式市場は上昇しました。中旬以降も、11月の小売売上高が市場予想を上回る増加となっていたことや12月のフィラデルフィア連銀製造業景気指数が上昇するなど、経済指標が良好だったことを受けて、株式市場は一段の上昇となりました。また、ブッシュ前大統領が実施した減税策の2年間延長を含む減税法案が成立したことなどから、景気回復期待がさらに高まり、月末にかけても株式市場は高値圏で推移しました。欧州株式市場では、ドイツ株式市場は上昇しました。上旬は、米国における大型減税策への合意や好調なクリスマス商戦を受けたグローバルな景況感の改善などから、ドイツ企業の業績が2011年も堅調に推移するとの見方が強まり、株式市場は上昇しました。中旬は、12月のIfo景況感指数が引き続き上昇したことなどから、株価は高値圏での推移となりましたが、下旬は、欧州周辺国への格付引き下げに関連する発表の増加や中国の金融引き締めに伴う景気減速への警戒感などが下押し材料となり弱含む展開となりました。

【日本債券市場】

12月の国内債券市場では、長期金利(新発10年国債利回り)は低下(債券価格は上昇)しました。上旬は、米国にて大型減税措置の2年間延長などが発表され、財政赤字の拡大や景気浮揚効果が意識されるなか、米国長期金利が上昇したこと、国内長期金利にも上昇圧力がかかりました。中旬にかけては、日本の2010年7-9月期実質GDP2次速報値が消費や企業の設備投資の上方修正を受けて市場予想を上回ったことや米国経済指標の改善を背景に、国内株式市場が水準を切り上げる展開となったことから、国内長期金利も上昇する場面がありました。しかしその後は、年末が近づくなか、積極的な取引が手控えられ、10月に降臨してきた金利上昇の反動から、長期金利は月初を下回る水準まで低下しました。

【外国債券市場】

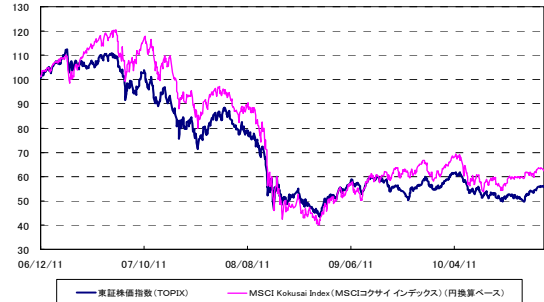
12月の米国債券市場では、長期金利(米国10年国債利回り)は上昇(債券価格は下落)しました。前半は、経済指標の改善に加え、オバマ大統領が、ブッシュ前大統領が実施した減税策の延長について議会と合意したとの報道などを受けて、長期金利は大きく上昇しました。中旬以降は、欧州圏の財政、金融問題への懸念が一時強まり、長期金利は低下する場面がありました。しかしながら、その後は経済指標の改善を受けて、長期金利は上昇に転じました。欧州債券市場では、ドイツ10年国債利回りは上昇しました。上旬は、ECB(欧州中央銀行)が引き続き潤沢な資金供給を行うことを2日の理事会で決定したこと、米国における大型減税策の合意、好調なクリスマス商戦を受けた景況感の改善を受け、ドイツの長期金利は上昇しました。中旬以降は、欧州周辺国の格付引き下げに関連する発表が増えたことなどもあり、長期金利は横ばいからやや低下しての推移となりました。

【外国為替市場】

12月は米ドルが対円で下落しました。前半は、11月の失業率が上昇したことを受けて、米ドルは対円で一時下落しました。しかしながら、その後はオバマ大統領が、ブッシュ前大統領が実施した減税策の延長について議会と合意したとの報道が好感されたことに加え、11月の小売売上高など経済指標が好調だったことなどから、米ドルは上昇しました。一方、中旬以降は、欧州圏の財政、金融問題への懸念が一時強まったことを受けて、米国の長期金利上昇に一般感が出たことなどから、米ドルは下落に転じました。また、月末にかけても、中国が利上げを発表したことを受けてリスク回避通貨として円買いの動きがやや強まったことや12月の消費者信頼感指数が低下したことなどから、米ドルは対円で下落基調で推移しました。12月はユーロが対円で下落しました。前半はECBが引き続き潤沢な資金供給を行うことを2日の理事会で決定したことなどから、欧州周辺国への財政や金融機関に対する警戒感がやや後退し、ユーロは対円で上昇しました。しかし、後半には、欧州周辺国の格付引き下げに関連する発表が増えたことなどから、欧州周辺国への財政や金融機関に対する警戒感が再び強まる展開となり、ユーロは対円で下落しました。

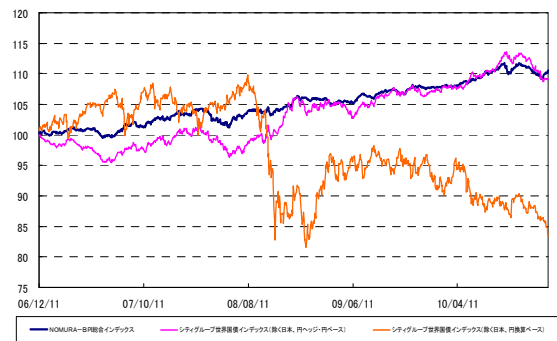
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2006年12月11日を100として指数化しています。

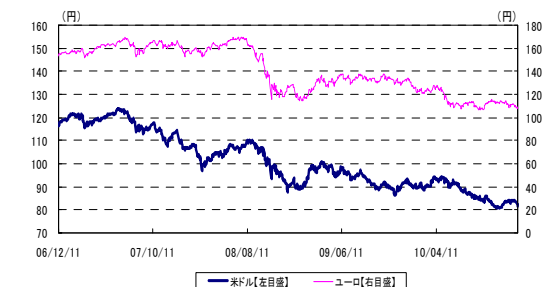


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフはNOMURA-BPI総合インデックス、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は2006年12月11日の前営業日を、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は2006年12月11日をそれぞれ100として指数化しています。



外国為替市場の推移



・三菱東京UFJ銀行発表の対顧客直物電信売買相場の仲値(TTM)です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2010年12月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を10/10ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
- 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2010年12月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型40MU	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、TOPIXマザーファンド受益証券20%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券30%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券20%、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券15%および外国債券インデックスマザーファンド受益証券15%を標準資産配分とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1カ月に1回程度リバランスを行ない、これを修正し、標準資産配分を維持します。 当ファンドの主なリスク <ul style="list-style-type: none"> 市場リスク(価格変動リスク)(為替変動リスク) 信用リスク 流動性リスク
利用する投資信託	
三菱UFJバランスファンドVA 40型 〈適格機関投資家限定〉	

■特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年6月2日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス		騰落率	
2010年12月末	83.52	過去1ヶ月	0.72%
2010年11月末	82.92	過去3ヶ月	0.19%
2010年10月末	82.21	過去6ヶ月	2.28%
2010年9月末	83.36	過去1年	▲3.16%
2010年8月末	81.16	過去3年	—
2010年7月末	82.97	設定来	▲16.48%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40MU	
	金額(千円)	比率
その他有価証券	21,095,313	99.5%
現預金・その他	103,956	0.5%
合計	21,199,269	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】

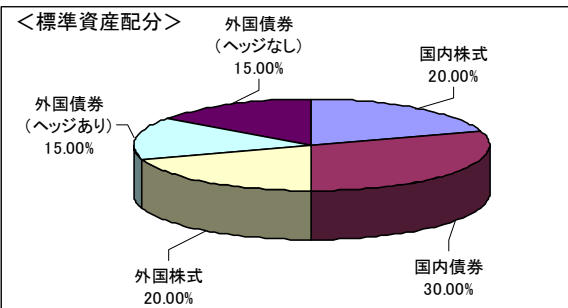
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2010年12月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を10/10ページに掲載していますので必ずご参照ください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の運用状況 [2010年12月末日現在]

■ファンドの特色



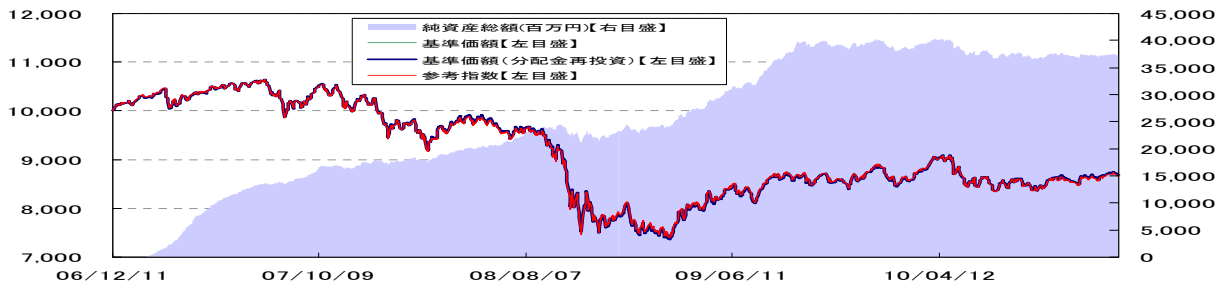
①TOPIXマザーファンド受益証券、日本債券インデックスマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券および外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。

②TOPIXマザーファンド受益証券20%、日本債券インデックスマザーファンド受益証券30%、外国株式インデックスマザーファンド受益証券20%、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券15%および外国債券インデックスマザーファンド受益証券15%を標準資産配分とし、これを維持します。

③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。
なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.294%(税抜0.28%))控除後の値です。
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)20%、NOMURA-BPI総合インデックス30%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2010/12/30	前月末	前月末比
基準価額	8,683円	8,602円	+81円
純資産総額(百万円)	37,197	37,038	+160

	基準価額	日付
設定来高値	10,644円	2007/7/20
設定来安値	7,363円	2009/3/10

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.94%	0.84%	3.62%	-0.67%	-15.16%	-13.17%
参考指数	0.90%	0.76%	3.32%	-1.34%	-15.39%	-13.53%
差	0.04%	0.08%	0.30%	0.67%	0.23%	0.36%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■資産構成

	標準資産配分	ファンドの資産構成
国内株式	20.00%	20.27%
国内債券	30.00%	30.23%
外国株式	20.00%	19.79%
外国債券(ヘッジあり)	15.00%	14.37%
外国債券(ヘッジなし)	15.00%	14.43%
短期金融資産	0.00%	0.91%
合計	100.00%	100.00%

・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。
・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
(注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■分配金実績(税引前)

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	2007/2/20	-	-	
分配金	0円	0円	0円	0円	-	-	0円

・1万口当たりの税引前分配金実績です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2010年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を10/10ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

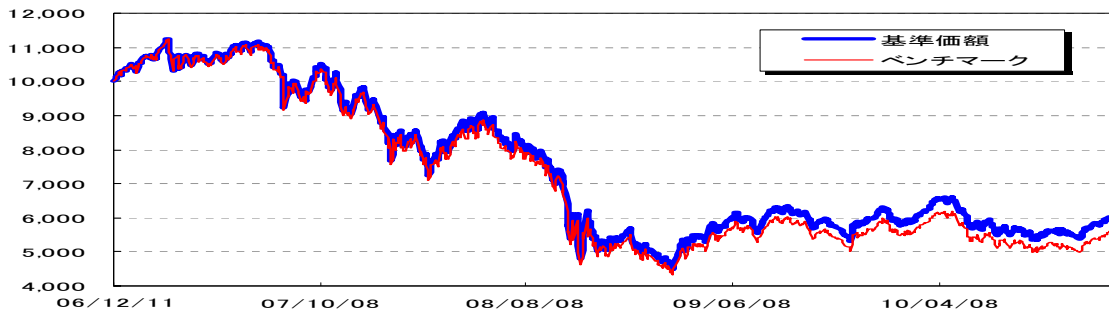
マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の運用状況 [2010年12月末日現在]

■マザーファンド(TOPIXマザーファンド)の特色

- ・東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・東証株価指数(TOPIX)から乖離するリスクと運用コストの極小化を目的として、定量的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築と適切な売買執行を行います。
- ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■資産構成

	2010/12/30	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	99.86%	98.54%	1.32%
内 現物	99.23%	97.34%	1.89%
内 先物	0.64%	1.21%	-0.57%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1660 銘柄)

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	3.42%	3.45%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.71%	2.73%
3	ホンダ	2.24%	2.26%
4	キヤノン	2.16%	2.18%
5	三井住友フィナンシャルグループ	1.78%	1.80%
6	みずほフィナンシャルグループ	1.52%	1.54%
7	三菱商事	1.44%	1.45%
8	ソニー	1.36%	1.37%
9	武田薬品工業	1.30%	1.31%
10	東京電力	1.21%	1.22%

・比率は純資産総額に対する割合です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	4.51%	8.47%	7.82%	1.07%	-35.26%	-39.93%
ベンチマーク	4.40%	8.35%	6.82%	-0.97%	-39.09%	-44.39%
差	0.11%	0.12%	1.00%	2.04%	3.83%	4.46%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■株式組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	15.15%	15.16%
2	輸送用機器	9.90%	9.90%
3	銀行業	9.56%	9.56%
4	化学	5.91%	5.91%
5	情報・通信業	5.44%	5.44%
6	卸売業	5.30%	5.30%
7	機械	4.97%	4.97%
8	電気・ガス業	4.73%	4.72%
9	医薬品	4.14%	4.14%
10	小売業	3.55%	3.55%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命保険株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2010年12月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を10/10ページに掲載していますので必ずご参照ください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、
内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

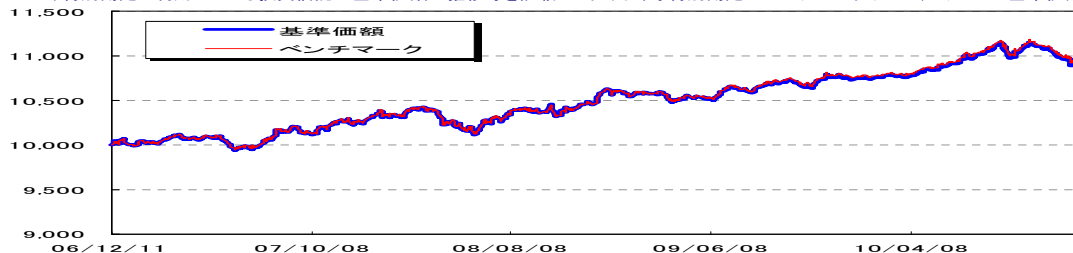
マザーファンド(日本債券インデックスマザーファンド)の運用状況 [2010年12月末日現在]

■マザーファンド(日本債券インデックスマザーファンド)の特色

・NOMURA-BPI総合インデックスに採用されている公社債を主要投資対象とし、ベンチマークであるNOMURA-BPI総合インデックスと連動する投資成果を目指した運用を行います。
・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、NOMURA-BPI総合インデックスです】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、三菱UFJバランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
・NOMURA-BPI総合インデックスは野村證券株式会社が公表している指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切関係ありません。

■資産構成

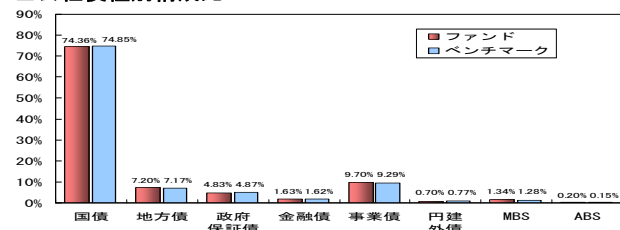
	2010/12/30	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	99.95%	99.90%	0.06%
内 現物	99.95%	99.90%	0.06%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

■公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 706 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第64回利付国債(5年)	国債	1.500%	2012/6/20	3.54%
2	第237回利付国債(10年)	国債	1.500%	2012/3/20	3.25%
3	第67回利付国債(5年)	国債	1.300%	2012/9/20	3.12%
4	第68回利付国債(5年)	国債	1.100%	2012/12/20	2.60%
5	第71回利付国債(5年)	国債	1.300%	2013/3/20	2.31%
6	第270回利付国債(10年)	国債	1.300%	2015/6/20	2.22%
7	第268回利付国債(10年)	国債	1.500%	2015/3/20	2.20%
8	第263回利付国債(10年)	国債	1.600%	2014/9/20	1.92%
9	第265回利付国債(10年)	国債	1.500%	2014/12/20	1.83%
10	第262回利付国債(10年)	国債	1.900%	2014/6/20	1.72%

■公社債種別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.62%	-0.81%	0.24%	2.40%	7.23%	10.24%
ベンチマーク	0.62%	-0.81%	0.25%	2.44%	7.40%	10.48%
差	-0.00%	0.00%	-0.02%	-0.04%	-0.17%	-0.25%

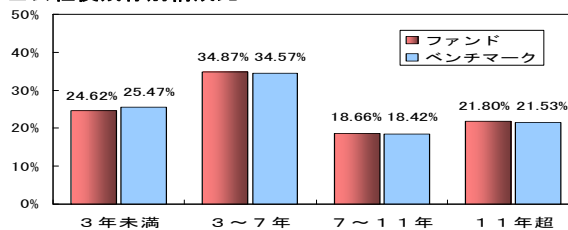
・騰落率は、三菱UFJバランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJバランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	8.02年	7.62年
修正デュレーション	6.81年	6.76年
複利利回り	0.77%	0.77%

・数値は、債券現物部分について計算しています。
・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
・修正デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。
この場合、修正デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
・「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

■公社債残存別構成比



【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2010年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を10/10ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

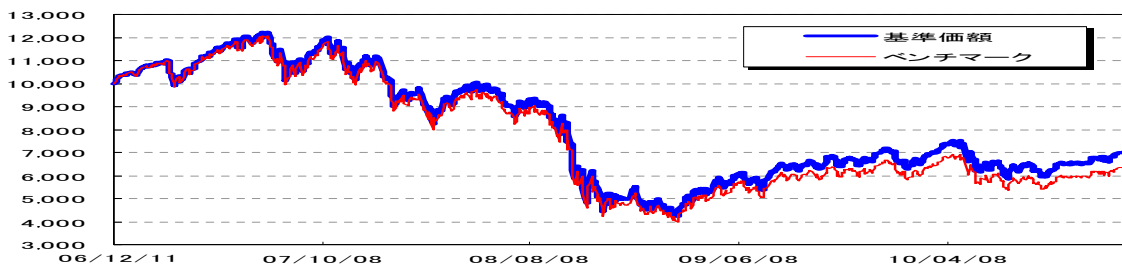
マザーファンド(外国株式インデックスマザーファンド)の運用状況 [2010年12月末日現在]

■マザーファンド(外国株式インデックスマザーファンド)の特色

- ・MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)に採用されている株式を主要投資対象とし、ベンチマークであるMSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。また、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
- ・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(円換算ベース)は、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイ インデックス)はMSCI Inc. の財産であり、「MSCI」はMSCI Inc. のサービスマークです。

■資産構成

	2010/12/30	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	98.86%	99.48%	-0.61%
内 現物	97.16%	96.78%	0.39%
内 先物	1.70%	2.70%	-1.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1277銘柄)

銘柄	国名	業種	ファンド	ベンチマーク
1 EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.65%	1.71%
2 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	1.32%	1.36%
3 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.96%	0.99%
4 NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.92%	0.94%
5 GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.86%	0.89%
6 INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.82%	0.84%
7 CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.81%	0.84%
8 PROCTER & GAMBLE CO/THE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.81%	0.83%
9 HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	0.80%	0.83%
10 AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.77%	0.79%

・比率は純資産総額に対する割合です。

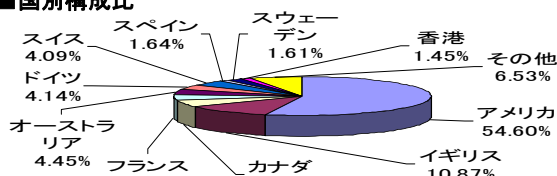
(注) 当ページの比率につき、REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.21%	5.49%	14.44%	-1.51%	-38.09%	-31.07%
ベンチマーク	3.01%	4.85%	13.07%	-4.14%	-42.75%	-37.70%
差	0.20%	0.64%	1.37%	2.63%	4.66%	6.63%

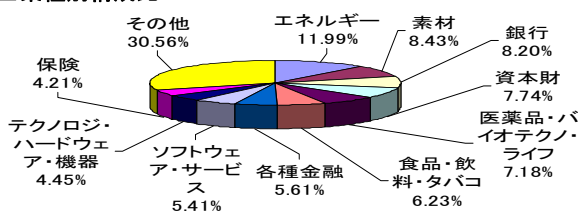
- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■国別構成比



- ・比率は現物株式評価額に対する割合です。
- ・国名は、投資対象銘柄の主要取引所国を表しています。

■業種別構成比



・比率は現物株式評価額に対する割合です。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2010年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を10/10ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

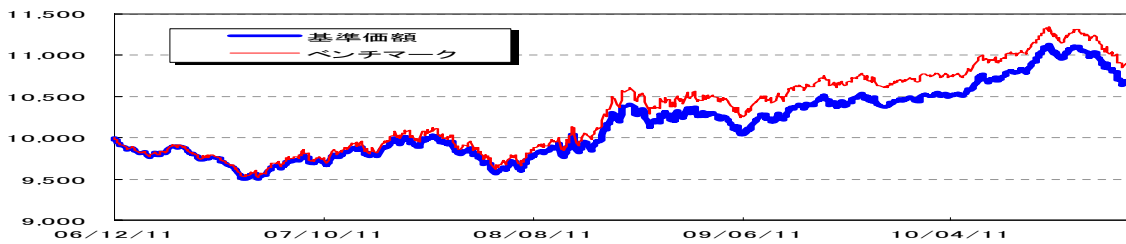
マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の運用状況[2010年12月末日現在]

■マザーファンド(MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド)の特色

- ・世界主要国の公債(日本を除く)を主要投資対象とし、ベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を中長期的に上回る投資成果を目指して運用を行います。
- ・運用にあたっては、クオantsモデルを活用することにより主要国の各債券市場を分析し、債券の残存期間構成戦略を超過収益の源泉とします。また、為替変動リスクを回避するため、原則としてフルヘッジを行います。
- ・株式への投資は、転換社債および転換社債型新株予約権付社債の転換等により取得したものに限りです。

■基準価額の推移【ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJバランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)を10,000として指数化しています。
- ・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)とは、シティグループ・グローバル・マーケッツ・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。

■資産構成

	2010/12/30	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	96.12%	98.51%	-2.39%
内 現物	96.12%	98.51%	-2.39%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

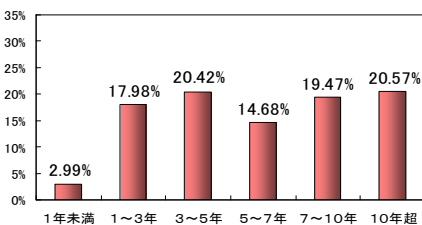
■公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 93銘柄)

順位	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	4.75 T-NOTE 140515	国債	4.750%	2014/5/15	アメリカ	4.59%
2	4.25 T-NOTE 141115	国債	4.250%	2014/11/15	アメリカ	3.84%
3	4.625 T-NOTE 161115	国債	4.625%	2016/11/15	アメリカ	3.76%
4	4.875 T-NOTE 160815	国債	4.875%	2016/8/15	アメリカ	3.27%
5	4.875 T-NOTE 120215	国債	4.875%	2012/2/15	アメリカ	3.15%
6	4.875 T-NOTE 120630	国債	4.875%	2012/6/30	アメリカ	3.10%
7	4.5 ITALY GOVT 190301	国債	4.500%	2019/3/1	イタリア	2.71%
8	4 T-NOTE 180815	国債	4.000%	2018/8/15	アメリカ	2.51%
9	4.25 T-NOTE 131115	国債	4.250%	2013/11/15	アメリカ	2.23%
10	4.25 BUND 140104	国債	4.250%	2014/1/4	ドイツ	2.13%

・比率は純資産総額に対する割合です。

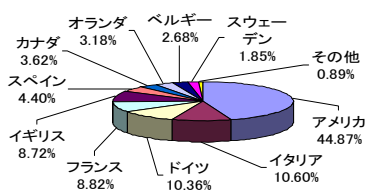
■公社債残存別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。

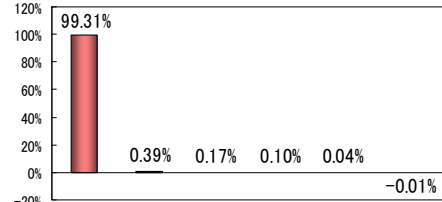
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■公社債国別構成比



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

■通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート (2010年12月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を10/10ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である三菱UFJ投信株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

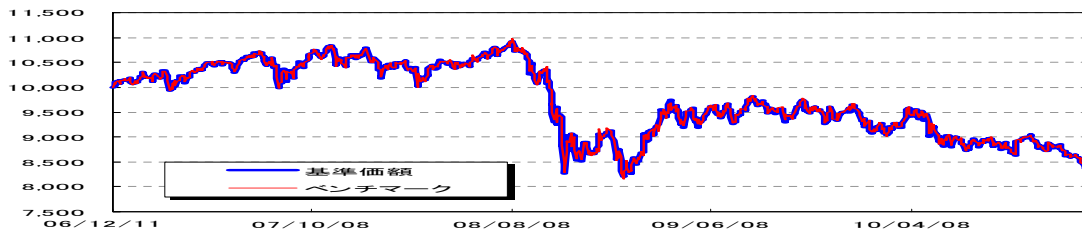
マザーファンド(外国債券インデックスマザーファンド)の運用状況 [2010年12末日現在]

■マザーファンド(外国債券インデックスマザーファンド)の特色

- ・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)に採用されている国債を主要投資対象とし、ベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)と連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。また、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
- ・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、ベンチマークとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■基準価額の推移【ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)です】

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- ・シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。シティグループ世界国債インデックスはシティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。

■資産構成

	2010/12/30	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	99.70%	99.76%	-0.06%
内 現物	99.70%	99.76%	-0.06%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定未
ファンド	-3.83%	-7.03%	-4.07%	-12.01%	-22.50%	-16.30%
ベンチマーク	-3.96%	-7.29%	-4.43%	-12.73%	-22.65%	-16.61%
差	0.13%	0.26%	0.36%	0.72%	0.15%	0.31%

- ・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
- ・設定後の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)の設定日(2006年12月11日)の前営業日を起点として計算しています。

■公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 591 銘柄)

順位	銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1	3.125 T-NOTE 190515	国債	3.125%	2019/5/15	アメリカ	0.55%
2	3.375 T-NOTE 191115	国債	3.375%	2019/11/15	アメリカ	0.55%
3	3.625 T-NOTE 200215	国債	3.625%	2020/2/15	アメリカ	0.54%
4	3.625 T-NOTE 190815	国債	3.625%	2019/8/15	アメリカ	0.52%
5	3.75 T-NOTE 181115	国債	3.750%	2018/11/15	アメリカ	0.51%
6	2.75 T-NOTE 190215	国債	2.750%	2019/2/15	アメリカ	0.48%
7	2.625 T-NOTE 200815	国債	2.625%	2020/8/15	アメリカ	0.43%
8	3.5 T-NOTE 200515	国債	3.500%	2020/5/15	アメリカ	0.40%
9	4.5 GILT 130307	国債	4.500%	2013/3/7	イギリス	0.39%
10	4.5 T-BOND 390815	国債	4.500%	2039/8/15	アメリカ	0.38%

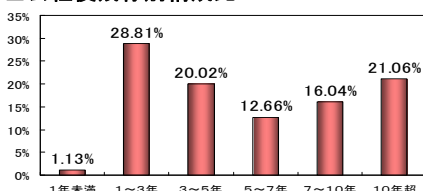
・比率は純資産総額に対する割合です。

■ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	8.00年	8.08年
修正デュレーション	5.76年	5.89年
複利利回り	2.67%	2.65%

- ・数値は、債券現物部分について計算しています。
- ・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

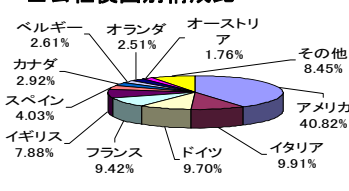
■公社債残存別構成比



・比率は純資産総額に対する割合です。

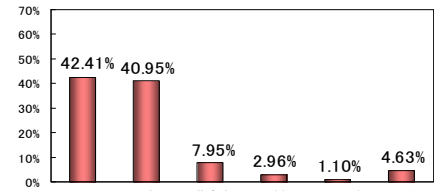
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■公社債国別構成比



・比率は現物債券評価額に対する割合です。

■通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産-為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- この保険は、積立金額および年金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債などで行っており、株式および公社債などの価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。
- 特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されます。特別勘定資産の運用リスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額などが一時払保険料を下回り、損失が生じる場合があります。
- 特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0% 特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間(運用期間)中および特別勘定終身年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.55% 積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用等に必要の費用	特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】


※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%* 年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

変額個人年金保険(07)終身D3型「生涯年金」は現在販売していません。

【取扱者(生命保険募集人)】

 **株式会社 三菱東京UFJ銀行**

三菱東京UFJ銀行コールセンター[保険]

0120-860-777

月～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)

<http://www.bk.mufg.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>